

2026.3.25

2026年度のルールの変更にについて

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。日本中体連審判規則委員会 審判長より下記の内容の連絡がありました。

2月に開催されたJVA第1回審判規則委員会と全国審判委員長連絡会議の中で、令和8年度のルールについて大きく2点取り扱いの変更が行われることが説明されました。

それを受けまして、令和8年度広島全中のルールの取り扱いについて、下記のように変更しますのでご連絡いたします。

【取り扱いの変更点】

- 1 チームの2回目のヒットが指を使ったオーバーハンドパスで行われ自チームの空間内にボールが飛んだ場合は、手の中で連続して接触してもダブルコンタクトの反則にならない。アタックヒットが完了(ボールがネットの垂直面を完全に通過するか、相手ブロックに接触したときは、ダブルコンタクトの反則になる。
- 2 レシービングチームのポジションの反則が成立するのは、サーバーがトスをした瞬間である。トスをした瞬間までに、コート内に位置していなかったり、ポジションが完全に入れ替わったりしたケースは反則となる。

このことから、8月の「九州中学校総合体育大会バレーボール競技(鹿児島)」、7月の「県中学校総合体育大会」においても同様の取り扱いといたします。チーム・生徒への周知をお願いいたします。

なお、詳しい中体連の取り扱いについては、4/18に東京都の慶應義塾中等部体育館にて開催されます「日本中体連バレーボール競技部審判規則委員会」にて正式に決定いたします。その内容をご確認くださいようお願い申し上げます。

(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部

審判規則委員会 九州ブロック長 山田 良太